

令和4年度 第8回三郷区地域協議会

次 第

日時：令和4年10月18日(火)午後6時30分～

会場：三郷地区公民館 2階 集会室

(全体：1時間40分程度を予定)

1 開 会

2 議題等の確認

3 報 告

(1) 学校適正配置に係る三郷小学校の状況について

(2) 諮問事項 新市建設計画の変更について (答申)

(3) 地域活性化につながる新しい三郷地区公民館の在り方に関する意見書について

(4) 自主的審議事項「三郷区の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について」

4 議 題

(1) 自主的審議事項について

(2) 「地域活性化の方向性」の検討について

5 事務連絡

6 閉 会

【今後の日程】

令和4年度第9回三郷区地域協議会

11月29日(火)午後6時30分～ 三郷地区公民館 集会室

令和4年度第10回三郷区地域協議会

12月22日(木)午後6時30分～ 三郷地区公民館 集会室

三郷小学校の今後の学びの在り方に関する意見交換会への話題提供資料

1 前回の意見交換会で出された懸念事項について

- (1) 仮に統合した場合、仲間関係が不安であり、迷っている状態である。

統合の前年度に、統合候補となる学校の児童と定期的に交流活動を実施します。一緒に授業を受けたり活動したりしながら、仲間づくりや環境への適応を図ってまいります。これまでの統合事例では、いじめや仲間外し等は報告されておりません。

- (2) 統合によりスクールバスになると、この時期ならではの徒歩通学の良さが失われるので、体力面で不安がある。

県内各地でスクールバスによる通学は増えていますが、それが要因で体力が落ちたという事例は報告されておりません。新潟県では、自校の体力レベルや課題をもとに、学校の特色を生かした体力向上策の取組「1学校1取組」を行っています。そのため、各学校の実態に合わせた体力づくりが行われています。

- (3) 地域から学校がなくなると高齢化が進んでいる中で、地域がさらに寂しくなってしまう。小学校がなくなること、三郷区に移住する人がいなくなってしまうのではないかと。地域づくりや学校の跡地利用などを同時に考えていかなければならない。

仮に統合によって学校がなくなった場合でも、地域が主体的に子どもたちの健全育成活動を考え、「地域の子どもは地域で育てる」という目的のもと、地域で育てることは従来と変わりません。学校は地域が広がったことにより、地域の皆様の支えをいただきながら新たな活動をつくっていきますので、ご協力をお願いします。また、地域協議会の自主的審議事項で、公民館のあり方について地域を挙げて検討されておられます。地域づくりに取り組む関係団体の皆様のお力で、三郷区のポテンシャルを引き出しながら、地域づくりを進めていただきたいと思います。

- (4) 保育園の保護者を含めて話し合いを進めてほしい。また、保育園児の交流も必要ではないか。

今春、保育園の保護者へも説明会を実施し、小学校と同時期にアンケートも実施したところです。保育園の保護者とも話し合いを進めてまいります。園児の交流については、各学校で入学前に行われる移行学級の中で対応してまいります。また、園と学校で園児に関する引き継ぎを行っています。これまで出身の園の違いによる問題等は報告されておりません。

- (5) オープンスクールのように別の形で存続することはできないのか。

市では、特色のある学校経営を行う「特認校」という国の制度もありますが、オープンスクールのように別の形での学校の設置が望ましいとは、現状では考えておりません。なぜならば、公教育として一定の質を維持し、学校間格差のない教育を保障する面から、すでにそれぞれの地域で特色ある教育活動が行われているためです。さらに特色を付与する制度や取組は、市のこれまでの取組とは合致しないと考えています。

(6) 一部の学区の統合により三郷小学校の統合を回避できないか。他地域から児童を呼び込むことはできないものか。

他地域の学校の児童数が減少することになるため理解を得ることは難しく、かなりの時間を要するものと考えられます。
また、現在、市では小中一貫教育の取組を推進しているところであり、その成果を活かすためにも学区の変更は考えていません。

(7) 通級に通っているが、仮に統合して大人数になった場合、これまでと同じように目が行き届くのか。新しい場所での周りの目が不安である。

通級に通う児童がいる学級では、通級に通う子どもたちへの理解を目的として、必要に応じて、通級担当教師による持ち込み授業を実施しています。また、担任と通級担当教師による連携体制も整っており、子どもの実態に沿った適切な指導に努めてまいります。また、事前の交流活動を行う中で、周りの子どもたちの理解を図り、通級に通う子どもが安心して生活ができるようにしてまいります。

2 今後の学びの在り方について

(1) 現状を選択

①複式学級へのAI教材の導入(間接指導の課題に対応)

- ・タブレット型情報端末にAIによる学習情報を取り入れたアプリを導入し、間接学習の際に個々に合わせた進度や難易度による自学を可能にする。

②隣接校との合同授業の実施

- ・児童が隣接校に訪問して対面による合同授業を定期的実施することで、多様な意見に直接触れたり、日常にはない仲間との関わりを体験したりする。
- ・タブレット型情報端末を使用した遠隔による合同授業を定期的実施することで、自席に居ながら離れた場所にある学習資源を活用したり、大人数による学習を実施したりする。

(2) 統合を選択

①候補校の概要

前回の保護者アンケートから城西中学校区の2校を候補と考えています。

	南本町小学校 (三郷小の児童数を含む)	和田小学校 (三郷小の児童数を含む)	(参考) 三郷小学校																																																																																																																																																																																													
統合後の児童数 <small>※R5以降は、5月1日付の住民基本台帳からの推計。児童数は特別支援学級在籍児童を含む三郷小との合計人数。 ※三郷小学校の票の色付き部分は、複式学級相当(弾力的運用で別の学年を複式学級とすることもあり)</small>	<table border="1"> <tr><th>学年</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>計</th><th>特別</th></tr> <tr><td>5年度</td><td>31</td><td>38</td><td>48</td><td>56</td><td>50</td><td>56</td><td>279</td><td>11</td></tr> <tr><td>6年度</td><td>32</td><td>31</td><td>38</td><td>48</td><td>56</td><td>50</td><td>255</td><td>11</td></tr> <tr><td>7年度</td><td>31</td><td>32</td><td>31</td><td>38</td><td>48</td><td>56</td><td>236</td><td>10</td></tr> <tr><td>8年度</td><td>38</td><td>31</td><td>32</td><td>31</td><td>38</td><td>48</td><td>218</td><td>9</td></tr> <tr><td>9年度</td><td>26</td><td>38</td><td>31</td><td>32</td><td>31</td><td>38</td><td>196</td><td>8</td></tr> <tr><td>10年度</td><td>30</td><td>26</td><td>38</td><td>31</td><td>32</td><td>31</td><td>189</td><td>7</td></tr> </table> <small>※三郷小学校と南本町小学校との合計児童数</small>	学年	1	2	3	4	5	6	計	特別	5年度	31	38	48	56	50	56	279	11	6年度	32	31	38	48	56	50	255	11	7年度	31	32	31	38	48	56	236	10	8年度	38	31	32	31	38	48	218	9	9年度	26	38	31	32	31	38	196	8	10年度	30	26	38	31	32	31	189	7	<table border="1"> <tr><th>学年</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>計</th><th>特別</th></tr> <tr><td>5年度</td><td>19</td><td>26</td><td>21</td><td>29</td><td>29</td><td>39</td><td>163</td><td>6</td></tr> <tr><td>6年度</td><td>15</td><td>19</td><td>26</td><td>21</td><td>29</td><td>29</td><td>139</td><td>6</td></tr> <tr><td>7年度</td><td>18</td><td>15</td><td>19</td><td>26</td><td>21</td><td>29</td><td>128</td><td>6</td></tr> <tr><td>8年度</td><td>21</td><td>18</td><td>15</td><td>19</td><td>26</td><td>21</td><td>120</td><td>6</td></tr> <tr><td>9年度</td><td>12</td><td>21</td><td>18</td><td>15</td><td>19</td><td>26</td><td>111</td><td>6</td></tr> <tr><td>10年度</td><td>21</td><td>12</td><td>21</td><td>18</td><td>15</td><td>19</td><td>106</td><td>6</td></tr> </table> <small>※三郷小学校と和田小学校との合計児童数</small>	学年	1	2	3	4	5	6	計	特別	5年度	19	26	21	29	29	39	163	6	6年度	15	19	26	21	29	29	139	6	7年度	18	15	19	26	21	29	128	6	8年度	21	18	15	19	26	21	120	6	9年度	12	21	18	15	19	26	111	6	10年度	21	12	21	18	15	19	106	6	<table border="1"> <tr><th>学年</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>計</th><th>特別</th></tr> <tr><td>5年度</td><td>4</td><td>14</td><td>6</td><td>14</td><td>16</td><td>17</td><td>71</td><td>6</td></tr> <tr><td>6年度</td><td>3</td><td>4</td><td>14</td><td>6</td><td>14</td><td>16</td><td>57</td><td>5</td></tr> <tr><td>7年度</td><td>7</td><td>3</td><td>4</td><td>14</td><td>6</td><td>14</td><td>48</td><td>5</td></tr> <tr><td>8年度</td><td>5</td><td>7</td><td>3</td><td>4</td><td>14</td><td>6</td><td>39</td><td>5</td></tr> <tr><td>9年度</td><td>3</td><td>5</td><td>7</td><td>3</td><td>4</td><td>14</td><td>36</td><td>4</td></tr> <tr><td>10年度</td><td>3</td><td>3</td><td>5</td><td>7</td><td>3</td><td>4</td><td>25</td><td>3</td></tr> </table> <small>※三郷小学校のみの児童数</small>	学年	1	2	3	4	5	6	計	特別	5年度	4	14	6	14	16	17	71	6	6年度	3	4	14	6	14	16	57	5	7年度	7	3	4	14	6	14	48	5	8年度	5	7	3	4	14	6	39	5	9年度	3	5	7	3	4	14	36	4	10年度	3	3	5	7	3	4	25	3
	学年	1	2	3	4	5	6	計	特別																																																																																																																																																																																							
	5年度	31	38	48	56	50	56	279	11																																																																																																																																																																																							
	6年度	32	31	38	48	56	50	255	11																																																																																																																																																																																							
	7年度	31	32	31	38	48	56	236	10																																																																																																																																																																																							
	8年度	38	31	32	31	38	48	218	9																																																																																																																																																																																							
	9年度	26	38	31	32	31	38	196	8																																																																																																																																																																																							
10年度	30	26	38	31	32	31	189	7																																																																																																																																																																																								
学年	1	2	3	4	5	6	計	特別																																																																																																																																																																																								
5年度	19	26	21	29	29	39	163	6																																																																																																																																																																																								
6年度	15	19	26	21	29	29	139	6																																																																																																																																																																																								
7年度	18	15	19	26	21	29	128	6																																																																																																																																																																																								
8年度	21	18	15	19	26	21	120	6																																																																																																																																																																																								
9年度	12	21	18	15	19	26	111	6																																																																																																																																																																																								
10年度	21	12	21	18	15	19	106	6																																																																																																																																																																																								
学年	1	2	3	4	5	6	計	特別																																																																																																																																																																																								
5年度	4	14	6	14	16	17	71	6																																																																																																																																																																																								
6年度	3	4	14	6	14	16	57	5																																																																																																																																																																																								
7年度	7	3	4	14	6	14	48	5																																																																																																																																																																																								
8年度	5	7	3	4	14	6	39	5																																																																																																																																																																																								
9年度	3	5	7	3	4	14	36	4																																																																																																																																																																																								
10年度	3	3	5	7	3	4	25	3																																																																																																																																																																																								
三郷小からの距離	青柳高田線経由で4.5キロ	国道経由で4.3キロ	—																																																																																																																																																																																													
校舎竣工年	昭和42年	昭和56年	昭和59年																																																																																																																																																																																													
教育目標	篤志好学(とくしこうがく) 思いやりをもち進んで学ぶ子 <small>※篤志…人を思いやる気持ち 好学…自ら好んで学ぶ</small>	みんなで知恵をみがき みんなで心を耕し みんなで体をきたえる やわらぎの子ども	心豊かに学ぶ子 ～楽しい学校～																																																																																																																																																																																													
重点目標	一人一人の笑顔づくり ～自尊感情の育成～	かかわりながら 自他のよさや 違いを認め合う子	高め合い ともに伸びようとする子ども																																																																																																																																																																																													

<p>主な教育実践事項</p> <p>※○…目指す姿 …実践事項</p>	<p>○進んで学び合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共感的な態度で友達の話最後まで聞く ・友達の考えと同じところや違うところを活かして、自分の考えをもち、伝える ・みんなと協力して学習課題を解決する <p>○認め合い、支え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分から進んで挨拶し、正しい言葉遣いをする ・自分も友達も大切にし、相手の気持ちを考えて行動したり、優しい言葉掛け「ふわふわ言葉」をしたりする ・意欲的に学校行事や地域行事に参加したり、係活動や委員会活動に取り組んだりする <p>○健康づくりを進める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「早寝・早起き・朝ごはん」を実践したり、好き嫌いをなく給食を食べたりする ・メディアに接する時間を1日2時間以内にする ・体育の時間や休み時間に進んで体を動かす 	<p>○かわりながら、考えを広げたり深めたりする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を意識した聞き方・話し方をする ・自分の考えを、相手にわかるように話したり、書いたりする ・力を合わせ問題を解決する <p>○自他のよさを知り、相手の立場に立って考えることができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級活動や縦割り班活動でお互いのよさや違いを認め合い、誰とでも協働する ・生活の目標を振り返る <p>○運動や生活習慣についてのめあてを決めて取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業や体力づくり活動において、めあてを立てて、振り返る ・「すこやか週間」において、重点項目を決めて事前指導を行い、一人ひとりがめあてを設定して取り組み、事後の活動を振り返る 	<p>○よく考え、確かな学力を身に付ける子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び合いを通して、自分の考えをよりよくする ・自分の考えをしっかりと書く ・自分のためになる家庭学習を続ける <p>○自分も友達も大切にできる子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のよさや頑張りを認め合うことができる ・自分がされて嫌なことを人にしない ・約束やルールを守って生活する ・誰にでも進んで挨拶や返事をする <p>○進んで健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のめあてをもって、進んで運動する ・楽しく運動し、できることを増やす ・よりよい生活習慣を身に付ける
<p>その他</p>	<p>制服あり。卒業生に制服のリサイクル提供をお願いするなど、取り扱いを工夫している。</p>		

②統合までの主な取組（保護者、地域ともに合意形成後）

	主な取組
<p>統合前々年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称) 統合協議会の設置 (通学方法の検討、PTA 組織や後援会組織の検討など) ・児童間交流計画案の作成 (合同授業、交流活動) ・スクールバスの運行計画案作成 (路線バス利用を含む) ・施設改修調査 (夏～秋)、必要経費予算 (9月) ・県教育委員会への加配教員要望 (9月～10月)
<p>統合前年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合同授業や児童間交流活動の実施 (定期) ・保護者間交流活動の実施 (計画による) ・スクールバスルート確認 (路線バス利用を含む) ・施設改修 (夏～冬)、必要経費予算 (9月) ・加配教員の配置による複式解消 (4月～) ・教育課程の検討 (4月～)、児童引き継ぎ (随時) ・学校説明会の実施 (秋以降) ・閉校式典 (及び後援会による関連した閉校記念事業) (10月 or 11月)
<p>統合年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・統合 スクールバス運行 (路線バス利用を含む) 開校式典

参考資料

1 各小学校の児童数の推移（特別支援学級在籍児童生徒数を含む）

学校名	三郷小(城西中学校区)							南本町小(城西中学校区)							和田小(城西中学校区)						
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計
4年度	14	6	14	16	17	16	83	24	42	42	35	39	27	209	12	15	15	13	22	21	98
5年度	4	14	6	14	16	17	71	27	24	42	42	34	39	208	15	12	15	15	13	22	92
6年度	3	4	14	6	14	16	57	29	27	24	42	42	34	198	12	15	12	15	15	13	82
7年度	7	3	4	14	6	14	48	24	29	27	24	42	42	188	11	12	15	12	15	15	80
8年度	5	7	3	4	14	6	39	33	24	29	27	24	42	179	16	11	12	15	12	15	81
9年度	3	5	7	3	4	14	36	23	33	24	29	27	24	160	9	16	11	12	15	12	75
10年度	3	3	5	7	3	4	25	27	23	33	24	29	27	164	18	9	16	11	12	15	81

※表の色付き部分は、複式学級相当（弾力的運用で別の学年を複式学級とすることもあり）。

※令和5年度以降の入学人数は、令和4年5月1日現在の住民基本台帳上の人数から推計。（附属小中学校、中等教育学校、特別支援学校、校区外等への通学者を含む人数）。

2 現状または統合による利点と課題

(1) 小規模校（複式学級を含む）で維持

	利点	課題
教育環境や学習環境	・個に応じたきめ細やかな指導がしやすい。	・互いに考えを出し合い、学び合い、高め合おうとする気持ちが育ちににくい。
社会性の育成と生活環境	・個々の特性をお互いに理解しており、人間関係が深まりやすい。	・人間関係づくりの基礎を築く最も大切な時期において、幅広い人間関係や社会性が育ちににくい。
学校経営・運営	・少人数の教職員構成であるため、共通理解を図りやすく、小回りの効く経営・運営ができる。	・教職員が少人数であることや異動サイクルが短いことから、効果的・創造的な学校運営や指導体制の構築が難しい。

(2) 近隣校と統合（学校規模が大きくなる）する場合

	利点	課題
教育環境や学習環境	・複式学級を回避できることで、子どもたちは単学級と同じ系統的な学習体系で学ぶことができる。 ・グループ学習や班活動が活性化し、授業で多様な意見を引き出せる。 ・少人数指導や習熟度別指導などの多様な指導形態が可能になる。	・学習環境の違いにより、持てる力を十分に発揮できない恐れがある。 ・集団規模が大きくなることで、発言がしにくいと感じる可能性がある。 ・学校行事等において、係や役割分担のない子どもが現れる可能性があるなど、一人一人が活躍する場や機会が少なくなる場合がある。
社会性の育成と生活環境	・良い意味での競い合いが生まれ、向上心が高まる。 ・自分で考え行動する場面が増え、教師に対する依存心が減る。 ・多様な考えに触れながら、社会性やコミュニケーション能力が高まる。 ・友人が増え、男女比の偏りが少なくなる。	・新たな生活に戸惑いが生じ、不安定になる可能性がある。 ・通学時間が長くなるため、児童の疲労への配慮が必要である。また、バス通学となることで、徒歩の時間の減少による体力の低下が懸念される。 ・これまで小集団で教師の目が行き届いていた分、自ら行動を起こすことに時間がかかる。
学校経営・運営	・一定の規模の児童集団を確保でき、経験年数、専門性、男女比等についてバランスのとれた教職員集団から教育を受けられる。 ・より多くの教職員が多面的な観点で指導ができるようになる。	・統合前には、学校相互の綿密な連携が求められ、お互いの学校（学校生活や学習指導、児童理解）についてよく知っておく必要がある。 ・統合後には、学校と地域との関係が希薄化することが懸念される。

令和4年9月27日

上越市長 中川 幹太 様

三郷区地域協議会
会長 竹内 浩行

新市建設計画の変更について（答申）

令和4年8月9日付け上企第29045-7号で諮問のあった、諮問第6号：新市建設計画の変更について、地域住民の生活に支障はないものと認めます。

令和4年9月30日

上越市長 中川 幹太 様

三郷区地域協議会

会長 竹内 浩行

地域活性化につながる新しい三郷地区公民館の在り方に関する意見書

令和4年1月25日付けで提出した三郷地区公民館整備に関する意見書に対し、令和4年2月3日付け上教社第418号で「令和5年度からの次期財政計画に施設の建て替えを掲載し、整備を進めていきたい」旨の回答をいただきました。これを受け、当協議会は、新たな公民館の在り方について協議を継続してまいりました。

地域団体等の意見交換や地域住民への聴き取り調査の実施を経て、地域活性化につながる新しい三郷地区公民館の在り方について自主的に審議した結果、下記のとおり意見がまとまりましたので、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき意見書を提出いたします。

記

新しい三郷地区公民館が、子どもから高齢者まで気軽に集まることができ、地域活性化につながる地域コミュニティーの拠点となるよう、令和5年度からの次期財政計画への掲載等、施設の整備を進めるにあたり、以下の事項を十分に反映いただきますよう要望します。

1 あらゆる世代が交流できる公民館とする

- ・1階に誰でも気軽に集まり、打合せや勉強ができるフリースペースを配置する
- ・子どもが楽しめるキッズスペースを設ける
- ・公民館の周りにアスレチックの公園など、屋外でも遊べる環境を整備する
- ・読書ができるスペースとして、図書室を設ける
- ・飲食や喫茶等ができる施設とする

2 幅広い活動を支援できる公民館とする

- ・多目的室、十分な広さの調理室を設置する
- ・公民館の事務室に今後も地域支え合い事業の事務局を置く予定としていることから、必要なスペースを確保する
- ・視聴覚設備を導入する
- ・運動ができるジム設備を導入する
- ・フリーWi-Fiの導入によりインターネット環境を整備する
- ・テレワークなど、一人でも利用できる場所を設ける

3 高齢者や障害者に配慮したバリアフリーの公民館とする

- ・トイレは、男女別とし、多目的機能を備えたものとする
- ・車椅子でも入りやすいよう出入口に段差をなくし、玄関を広くする
- ・玄関や通路等の手すりを充実させる
- ・照明は、十分な照度とし、館内の明るさを確保する
- ・道路から公民館敷地へ車両が安全に出入りしやすいよう、乗入れの幅員を確保する
- ・十分な駐車スペースを確保した駐車場とする

※当意見書は、別紙1及び2の内容を集約しています。

地域活性化につながる新しい三郷地区公民館の在り方の協議における意見一覧表

区 分		意 見			
ソフト	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業をいろいろな分野で開催 ・趣味が活かせる区画を設ける(お茶・読書等) 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・バザー、又はフリーマーケット ・催しができる ・一人でも利用できる(読書・テレワークの場合) 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流できるスペースを取り入れる ・デイサービス 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・軽食 ・飲食、喫茶等ができ、行きたいと思う公民館 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・幼児等が遊べるスペース ・子どもが楽しめるスペースがあること ・子ども同士が遊べる ・託児所、キッズスペース ・こどもの家併設 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・勉強や作業ができるスペース ・公民館近くに畑をつくり通年の「野菜づくり教室」 ・ヨガ、ピラティス、カーブス等の外部団体による出張プログラム 			
		ハード	地理的	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人を知り、利用できるようバイパス近くでの建設 ・三郷地区の中央に位置しており、通いやすい ・徒歩で容易に行ける場所 	
				施設	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易図書館 ・フリースペース ・視聴覚設備 ・運動施設、ジム ・防災拠点も兼ねた施設 ・消防小屋併設 ・掲示板(仲間募集用) ・保育園、防災施設を兼ねた施設 ・ネットワーク環境 ・オープンオフィス ・耐震構造 ・入浴施設 ・ソーラーパネル、蓄電池 ・入口通路や駐車場に消雪パイプ、ロードヒーティングなど、融雪機構を配備 ・コンビニ併設 ・避難所としても利用できる公民館 ・リラックススペース(座敷、座卓のみで自由に利用でき談話できる場所) ・マッサージ機 ・平屋建て

区 分		意 見
ハード	広場	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館だけでなく、周りにアスレチック公園も整備する ・駐車場や敷地に花壇がある ・小さな公園の中にたたずむ建物 ・外で弁当が食べられる ・避難所の機能として芝生広場
	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が広く、出入りしやすい ・駐車スペースが広いこと ・広い駐車場 ・駐車場の雪対策(消雪等)
		<ul style="list-style-type: none"> ・調理室 ・調理台は広く安全なもの
		<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸ができる部屋
		<ul style="list-style-type: none"> ・1階に誰でも集える集合室(ロビー)がほしい ・三郷の魅力を取り入れた建物(例:外壁に春駒の絵) ・エアコンなど冷暖房がしっかりとしている
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に優しい、バリアフリー対応 ・バリアフリーであること ・バリアフリー、トイレ、手すり、照明設備の充実 ・広い玄関 ・バリアフリーの入り口(玄関) ・広い窓、明るい部屋
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり振興会の事務局のスペースを確保してほしい ・初めて来館する人も所在がわかるよう、入口付近に案内看板を設置してほしい。長者原交差点にも案内標識があるとよりよい ・車両で敷地から出る際、特に積雪時の見通しが悪いため、カーブミラーを設置してほしい ・公民館主事が常駐しており、ありがたい ・和室にもテーブルと椅子があるといい ・階段の上り下りが大変な方がいるので、平屋建てがよい ・「気軽に利用できます」みたいな雰囲気があるとよい ・人数に関係なく二人でも三人でも「ちょっと何かしたいね」という場所になるとよい ・周囲に花を植えてほしい ・外装に住民の要望を取り入れると面白いと思う ・無料wifi ・三郷のシンボリックな建物にしてほしい ・地域住民の作品を通年で展示している趣味の部屋 ・事務室を今より広くしてほしい
その他	名称	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館でなくて…

公民館班委員による地域住民への要望調査結果一覧表

調査期間：令和4年6月29日～7月10日

調査対象：無作為抽出

年代性		要 望
10代	男性	・徒歩で容易に行くことができること ・遊べる広さがある部屋（集会室）がほしい
	女性	・勉強や作業ができるスペースがほしい ・無料wifi ・図書館のようなカフェのような静かな空間（学生が利用しやすい空間） ・地区の皆さんから不要文庫本等を集め、ミニ図書館がほしい ・飲食あり
20代	男性	・無料wifi（2） ・コンビニ併設 ・飲食施設（昼：軽食、夜：ショットバー）
30代	男性	・無料wifi ・コンビニ併設 ・こどもの家併設（2） ・男女別のトイレ、洋式化（2） ・会議用の部屋だけではない複合施設 ・立地、活用方法をよく考えて三郷のシンボリックな建物にして欲しい ・図書閲覧スペース（特色のある図書だけを集めるのも面白いかも） ・バリアフリーの公民館にしてほしい ・空調のしっかりした公民館がよい
	女性	・こどもが遊べるスペース ・こどもの家併設 ・避難所としても使用できる公民館にしてほしい ・夜間の会議でも虫が入ってこない快適な環境の会議室
40代	男性	・三郷地区だけでなく、沢山の人が利用できる場所（バイパス近くなど）に建設する
	女性	・簡易図書館（図書室、移動式等） ・こどもが遊べるスペース ・こどもの家併設 ・趣味の活動とかあったら行きたい ・軽い運動ができる部屋や子供たちが遊べる部屋があると良い ・野菜を作るが上手く育たないので、公民館近くに畑を作り通年の「野菜作り教室」
50代	男性	・公民館に隣接する公園がほしい ・駐車スペースが広く、消雪対策のできている公民館 ・エアコン等、冷暖房がしっかりしている ・映画やDVDを大型スクリーンで見ることができる設備のある部屋がほしい ・活動するのに必要な広さがほしい ・無料wifi ・駐車場を広く
	女性	・無料wifi ・バリアフリー ・冷暖房完備 ・スタジオプログラムが可能な部屋 ・ヨガ、ピラティス、カーブス等の外部団体による出張プログラム ・リラックススペース（座敷、座卓のみで自由に利用でき談話ができるような場所） ・マッサージ機 ・子供や幼児が遊べるスペースがある ・一部屋は洋室（机椅子）があればよい。 ・図書コーナーとソファがあるといい。（図書については、きれいなものを地域住民に寄付してもらえればよい。漫画可）

60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー ・トイレは洋式で ・大きな駐車場 ・子供から老人まで使用できるスペースがほしい ・部屋の使用用途が多く、使用しやすいこと ・耐震性に優れ、防災拠点兼務の施設を希望 ・階段に手すりを付けてほしい ・冷暖房がしっかり効くようにしてほしい (2) ・入り口が広く出入りしやすい (2) ・完成図がないとイメージがわからない ・いろいろ要望しても結局予算が決まっているので意味がない
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・料理教室が行えるようにしてほしい ・各種の行事が行えるように広くしてほしい ・トイレは洋式で男女別にしてほしい (3) ・多目的室や調理室があり、バリアフリー化した方が良い ・平屋建ての場合、駐車スペースを考慮した敷地面積が必要となる ・これからの公民館は、集会だけでなく若い世代の人達にも利用していただき、地域を盛り上げてほしいと思う ・外で遊ぶことがない孫たちのために数種類の遊具のある部屋がほしい ・地区の皆さんの作品を年間通じて展示等してある趣味の部屋 ・机と椅子が常時出ている部屋 ・様々な趣味活動ができる多目的な部屋
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・増加する高齢者の利用が高まるように、構造は平屋建てで (3) ・各部屋、施設の動線を考慮しスムーズな移動が可能ないようにしてほしい ・隣の消防ポンプ小屋と一体化した施設にしてはどうか (2) ・バリアフリー化してほしい (3) ・トイレは洋式で男女別にしてほしい ・台所は設置して、合わせて冷蔵庫を設置してほしい ・事務室を今より広くしてほしい ・現在利用している団体がすべて同じように利用できるようにしてほしい ・立ち寄って本などが読めるコーナーがあるとよい ・会議室はテーブル+椅子の配置とした方がよい ・生涯学習、住民の世代を超えた地域づくりの拠点の場所 ・施設の機能を生かし、様々な交流を通して学べる公民館として有効に活用し、文化芸能活動成果の推進を図る場所 ・事務室、集会場、和室、作業室、2階には大小の会議室や資料室があるとよい ・災害の避難所としての機能も考慮し、芝生広場を設ける ・利便性の良い国道18号線に近い県道青柳高田線沿いが良い ・30畳の部屋がほしい (2)
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・行き易さ ・冷暖房完備 ・いつでも利用可能な談話スペース
80代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化、高齢者が利用しやすくエレベーターの設置

*特に要望なし：40代男1, 50代男1, 70代男1, 70代女1

*男：37人 女：22人 合計：59人

*10代：5 20代：3 30代：9 40代：8 50代：6 60代：13 70代：14 80代：1

郷土芸能無形文化財「春駒」の伝承事業の経過、今後の取組等について

1 令和4年度経過報告

- 7月5日(火) 第1回春駒伝承活動実行委員会を開催
- 7月11日(月) 松波会会員が三郷小学校3年生に春駒の踊りを教えている場面を収録
- 7月24日(日) 教本となるDVDを松波会会員に踊っていただきオーレンプラザにて収録
- 9月22日(木) 第2回春駒伝承活動実行委員会開催
- 9月27日(火) 市へ「(仮称)地域独自の予算」エントリーシートを提出し、令和5年度に行う事業を提案
- 10月12日(水) ドキュメンタリーのアレシーション収録
- 10月22日(土) 三郷小学校文化祭収録
- 11月中旬 完成上映会(予定)

2 令和5年度の取組の内容及び実施方法

■実施体制

令和4年度事業を実施している「春駒伝承活動実行委員会」を発展的に見直し、三郷地区全域の町内会の皆さんや振興会団体が参画する「(仮称)三郷春駒保存会」を設置し事業を実施する。

■実施事業の概要

①音楽CDを作成

「春駒」の踊りと歌を覚えるための教材

現在、保存会会員の歌をカセットテープに収録したものを使用しているが、新たに専門的な和楽器奏者や民謡の歌い手による音楽CDを作成し、活用する。

②民謡踊り教室の開催

三郷区内の民謡踊りに関心がある方や若い世代を対象とする。

民謡踊りの講師から郷土の民謡踊りを習いながら「春駒」踊りも身につけていく。会場は、三郷地区公民館で、若い世代の参加を期待して夜間に開催する。

③「(仮称)春駒のつどい」を開催

市内にある他の「春駒」伝承団体等との交流

共通の喫緊の課題である郷土芸能伝承活動について、情報交換を通し先進活動事例を学び、今後の活動に生かしていく。将来的には「春駒サミット」の開催を目指す。

三郷区地域団体との意見交換会 概要（案）

1 目的

三郷区地域協議会が、自主的審議事項として審議してきた「地域活性化につながる新しい三郷地区公民館の在り方について」と「三郷区の郷土芸能無形文化財『春駒』の伝承について」の取組状況を地域団体へ報告する。

また、地域活性化の方向性の作成に向け、地域団体が日ごろ感じている地域の課題や、団体が考える三郷区の魅力について把握する機会とする。

2 参加者

三郷区地域協議会委員 12人

三郷地区各種団体代表者又は代理の方 15人

（各種団体：三郷地区町内会長協議会、三郷地区農政対策協議会、三郷まちづくり振興会、青少年健全育成協議会、三郷小学校PTA、長生会、上越市防災士会三郷支部、三郷小学校区防犯組合、三郷地区交通安全協会、三郷体育振興会、三郷地区子ども会、ENJOY35、三郷地区の歴史・史跡を研究する会、食生活改善推進委員会、民生委員・児童委員）

合計 27人

3 日程

令和4年11月29日（火）午後6時30分～（1時間30分程度）

4 会場

三郷地区公民館 2階 集会室

5 内容

（1）自主的審議事項の取組状況について（報告）

（2）意見交換

- ・三郷区の地域課題等について
- ・三郷区の良いところ、魅力について

6 その他

- ・会議は、公開とする。
- ・団体への案内は、会長名で南部まちづくりセンターが行う。